



防衛大学校少林寺拳法部

平成19年度 部誌・OB会報 No.34

HP アドレス : <http://www.nda.ac.jp/ed/syorinji/>

目 次

---

部 誌

---

- 1 部長挨拶  
通信工学科 教授 高橋 信明
- 2 学生寄稿  
5 3 期 主将 磯畑 良太  
副将 濱田 卓  
5 4 期 荒川 紗恵  
小舩 乗継  
5 5 期 植野 辰徳  
光宗 勇人
- 3 平成 2 0 年度部員名簿
- 4 平成 1 9 年度活動成果
- 5 平成 1 9 年度各大会個人成績
- 6 平成 2 0 年度年間活動計画
- 7 少林寺拳法部第 5 3 期政権編成

---

奥平会報

---

- 1 会長挨拶  
奥平会会長 1 7 期 石渡 幹生
- 2 平成 1 9 年奥平会活動概要
- 3 平成 2 0 年度奥平会活動予定
- 4 期連絡網について
- 5 連絡事項
- 6 少林寺拳法全自衛隊支部について
- 7 奥平会会則
- 8 奥平会会員名簿  
別紙第 1 平成 1 9 年度奥平会活動成果報告  
別紙第 2 平成 1 9 年度奥平会総会議事録  
別紙第 3 平成 1 9 年度奥平会決算報告書  
別紙第 4 平成 2 0 年度奥平会活動計画  
別紙第 5 平成 2 0 年度奥平会予算計画  
別紙第 6 全自衛隊支部の紹介  
別紙第 7 防大少林寺拳法部奥平会会則  
別紙第 8 奥平会名誉会員名簿  
別 冊 奥平会員名簿

## ご挨拶

部長 高橋 信明

### 合 掌

防衛省が飛躍の年として期待していました平成19年度は、いろいろな意味において大変な年になりましたが、防衛大学校少林寺拳法部OB・OG諸兄弟におかれましては、くじけることなく益々ご精励のことと存じ上げます。また、現役諸君は新政権を中心に、防衛大学校少林寺拳法部の良き伝統を守るべく、日々の稽古に精進していることと思います。

昨年、平成19年度は防衛大学校少林寺拳法部にとって申し分のない年でありました。前年度に比べ、部員数が六十数名と若干減りましたが、日頃の練習や試合において部員全員一丸となって張り切って取り組んでいました。

新学期早々の5月4日に日本武道館にて開催されました第44回少林寺拳法関東学生大会では、3学年(53期)によります団体演武において、前回に引き続き最優秀賞を獲得しました。さらに、男子三段以上の部では上田・太田学生(52期)が敢闘賞を、男女段外の部では荒川・有浦学生(54期)が優秀賞を獲得しました。昨秋、10月7日、日本武道館で開催されました第41回少林寺拳法全日本学生大会におきましては、3学年(53期)によります団体演武で、最優秀賞を獲得し、四連覇の栄誉を成し遂げました。加えて、男子三段以上の部で上田・大畑学生(52期)が、男女初段の部で有浦・荒川学生(54期)が、男子段外の部で光宗・重松学生(55期)が、それぞれ敢闘賞を獲得しました。定期試験直後という厳しい条件下にもかかわらず、立派な成績を残してくれたと思います。これらは上田主将(52期)を中心とした現役学生諸君の日頃の努力に加え、師範や顧問のご指導及びOB・OG諸兄弟各位のご支援の賜物と、感謝申し上げる次第です。

昨年11月16日の交代式において52期から53期へと政権が移り、現在磯畑主将を中心とする53期政権は、神田・頼富両師範及び濱田監督(27期)の指導の下、盛んに意気を上げております。次回全日本大会の日程が定期試験の翌日に予定されている等、厳しい条件が予想されますが、恵まれない環境にめげず頑張るのが防大生であるとの気概をもち、本年も、身体と頭と根性を総動員し、稽古に励んでいるところでありますので、これからも多くのOB・OG諸兄弟の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜わりたくお願い申し上げます。

結 手

## 防大少林寺を背負う

第 53 期 主将 磯畑 良太

合掌

我々 53 期が防衛大学校少林寺拳法部を運営し始めて半年が経とうとしています。第 45 回関東学生大会が終わり、1 学年が練習に参加し始めたことで、部がより一層活発になってきました。

近年、防大少林寺拳法部は部員が安定し、部の雰囲気も良くなってきました。これは諸先輩方の並々ならぬ努力の賜物であると感じています。私はこの良き波を崩すことなく、さらに部を発展させる責任があります。それと同時に、部員と一緒に練習できるという喜び、感謝の気持ちを忘れずに精進していく次第です。

我々は、部を運営するにあたり「一枚岩」を掲げています。横だけでなく特に縦の関係を大切にし、部として一枚続きの岩のような強固な団結ができる部、その部全体で勝利に邁進していくことを目標にしています。ただ、平成 20 年度に入って第 45 回関東大会がすでに終わり、団体演武の部で残念ながら最優秀賞を逃してしまいました。結果は結果として受け止めて反省しなければなりません。しかしながら、そのような中であっても来たる全日本では必ず勝利する、という気持ちが現在、部全体から感じられます。この気持ちを大切に日々練習することで各々が自信を持ち、自信を持った部員が団結し、部全体で勝利に向かっていく。それが最終目標にしている「一枚岩」につながっていくと確信しています。

最後になりますが、部長、師範、監督、顧問、OB、OG の方々、今後とも厚いご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願いします。

結手

## 私にとっての少林寺拳法

第 53 期 副将 濱田 卓

合掌

早いもので、防衛大学校少林寺拳法に入部して3年が経ちました。新入部員たちを見て3年前の自分を思い出す今日この頃です。

少林寺拳法の開祖語録のなかで、宗道臣先生は「今までに人生が変わるような出会いをしたことがあるか」とおっしゃっておりますが、私にとって少林寺拳法との出会いは、まさに、このような強い縁を持った、人生に大きく影響するような出会いだったと思います。

私が初めて少林寺拳法の道衣を身に着けたのは、私がまだ小学4年生の頃でした。自衛隊の駐屯地の体育館で大人に混じって修行していました。私はすぐに少林寺拳法が好きになり、近所の友達を誘い、みんなで少林寺拳法を学びました。やがて中学生になり、部活が忙しくなり、私は少林寺拳法の修行をやめてしまいました。

しかし、いつも大切なものというのは、なくなってから気がつくもので、私は少林寺拳法をやめて初めて、私にとって少林寺拳法がどのような存在であったかを認識するようになりました。例えば、自分が何かに躓いて自信を失ったときや不安になったとき、また、後ろめたいことをしてしまい自分を戒めたいとき、私は少林寺拳法の道訓を読み返しました。そうすることで冷静さを取り戻し、これからどうしなければならぬのかを考えることができました。また、ふと気づいたとき、何気なく鏡の前で振り子突をしたりすることもありました。このように少林寺拳法は、私が修行をやめた後も私の中で生きていました。

そして、防衛大学校に入校し、再び少林寺拳法と出会い(当初他の部活に入ろうとしていたにも関わらず)、防衛大学校少林寺拳法部に魅かれ入部することになりました。今改めて、「縁」というものの強さを感じています。

入部当初、私は志半ばで止まっていた私の少林寺拳法を防衛大学校で完結させようと考えていました。しかし、修行を積めば積むほど、少林寺拳法の奥深さに気づかされ、3年間必死に修行してきたつもりなのに、政権(幹部)になった今でも全くゴールが見えません。むしろ最初からゴールなんていうものはないのだ、ということに気がつきました。大袈裟に言えば、人生そのものが修行であり、少林寺拳法の修行はその一部分でしかなかったのです。だからこそ、少林寺拳法が私の人生にとって切っても切り離せないものだったのだと言えると思います。

一度少林寺拳法をやめたからこそわかることだと思いますが、少林寺拳法を通じて学んだことは、技術であれ教えであれ、確実に自分の中に残ります。そして、これからの人生の様々な場面で自分を支えてくれます。防衛大学校少林寺拳法部で修行を積んだ同志が、これから先も修行を続け、卒業しても修行を続け、いつかまた拳を交えることができればいいなと思います。そんな仲間を一人でも多く作れるよう、これからも修行していきたいと思っています。

結手

## 少林寺拳法という運命

54期 荒川 紗恵

合掌

私が少林寺拳法に出会ったきっかけは父だった。無事大学に入り、どの校友会に入部するか悩んでいた私に父が勧めてきたのだ。その理由は、日本一に一番近い部活だったからだった。また、高校3年生のときにキックボクシングを少し習っていて、武道に興味をもっていた。ほかに武道といえば柔道や空手もあるが、突き蹴りや関節技、投げ技を習いたくて、少林寺拳法を選んだ。

入部して初めての大会がいきなり10月の全国大会で、男女1組の部門に出場した。日本武道館に白い胴衣を着た選手が全国の大学から集まり、人の多さに驚いた。去年は優秀賞をとってプレッシャーがかかる。緊張のあまり予選では硬くなってしまい、いい演武をすることができなかった。ギリギリで通過することができ、なんとか本選へ進むことができた。本選が始まるころには緊張がほどけ、今までの練習の成果をすべて出し切ることができた。その結果、日本一を意味する最優秀賞を獲得した。

少林寺拳法を始めて2年がすぎた。今年5月に行われた第45回関東学生大会に12人で演武をする団体演武で出場した。去年まで4連覇をしていたが、残念ながら優良賞しかとれなかった。勝つことの難しさ、悔しさを味わった。本番は9月の全日本大会であるが、例年より1ヶ月早まり、練習時間が非常に少ない。他大学と比べて時間がほとんどとれない中で、いかに効率良く練習をして、最高の結果を残すのが防衛大学校の少林寺拳法部の特長である。絶対に日本一を勝ち取りたい。

結手

## 防大少林寺拳法部の良さとは

54期 小船 乗継

合掌

私が少林寺拳法部で学んだことの1つに、「まず始めてみるのが大事」ということがある。他の部では、やる気があるときは頑張って校友会活動をやるけれど、やる気が無いときはほとんど何もしない、という人が多いと思う。しかし、これは限られた時間の中で最大限の成長を求められる少林寺拳法部では許されない。では、どうやって自分にも度々訪れるこのやる気の無さを克服しているのかというと、まわりの同期が真剣にやっているのを見ることによってである。彼らを見ると、「ああ、自分だけ手を抜くのはダメだな、ちょっと頑張ってみようかな」という気持ちになる。そして、学年係の政権(幹部)や同期からの様々なアドバイスを聞き、素直にそれを実行してみる。すると、その人たちから、「上手くなった」「きれいになった」という声を聞くことができることがある。その時、私は成長を実感することができ、結果として練習が面白くなり、やる気も出てくるのである。つまり、同期のやる気が自分をやる気にさせるのである。

そして、この過程の中で、同期の存在、政権(幹部)の存在は欠かせない。周りの人とのつながりが自分を変えていくのであり、そのつながりが他の部よりも濃密であることが、ここ防大少林寺拳法部の誇れるところだと私は考える。

結手

## 私が少林寺拳法部に入って成長したこと

55期 植野 辰徳

合掌

私が少林寺拳法部に入部したきっかけは、第一に一学年時の前期同部屋が入ると言ったからであり、第二に昔空手をやっていた、やりやすそうだったからという軽い気持ちでした。しかし、入って一週間たたぬうちにその考えが甘かったことに気付きました。覚えきれないほどたくさんの技があり、特に柔法は複雑で奥深く、覚えるのに相当苦勞しました。技だけでなく、練習前のトレーニングもすごく大変で、懸垂で鉄棒から落ちたり、ランニングについていけなかつたりしました。しかし、そんな環境の中で、みんなで技を確かめあったり、励ましあったりして団結が深まったと思います。また、きつくても周りのために声を出すことで精神力も鍛えられました。私は少林寺拳法部に入って体力的にも精神的にも強くなれたと思います。

結手

## 私と少林寺拳法との出会い

55期 光宗 勇人

合掌

私が少林寺拳法を始めたきっかけは、少林寺拳法を通じて体を鍛錬し、この小原台での4年間を充実したものにしたかったからです。最初は、武道を学んだ経験が無く、不安を抱き校友会へ行っていた私も、9割が初心者という環境の中ですぐに馴染むことができ、校友会でたくさんの同期と一緒に日々練習に励んでいます。辞めたいと思ったときもあるけれど、そんな時はいつも同期が相談に乗ってくれました。私は、少林寺拳法を始めたこと、同期と出会えたこと、そして苦しい時も支え合って乗り越えたことを誇りに思っています。そして、私を成長させてくれた少林寺拳法に感謝し、これからも続けていきたいです。

結手



## 平成 2 0 年度部員名簿

(平成 2 0 年 5 月 1 日現在)

| 期別  | 小隊     | 教務班    | 要員                 | フリガナ<br>氏名            | 役職等             |
|-----|--------|--------|--------------------|-----------------------|-----------------|
| 5 2 | 141    | 情報(9)  | 空                  | ムネオ ヒデリ<br>棟尾 英典      |                 |
|     | 421    | 応物(4)  | 陸                  | ヨシタケ ナオヒロ<br>吉武 直洋    |                 |
| 5 3 | 111    | 人文(1)  | 陸                  | イシマル ジュン<br>石丸 純      | 一年係(正)          |
|     | 112    | 土木(14) | 陸                  | フジサキ シュウタロウ<br>藤崎 脩太郎 | 本山 兼 写真         |
|     | 121    | 電気(7)  | 空                  | オオコウチ タイチ<br>大河内 太一   | 統制長 兼<br>二年係(正) |
|     | 121    | 人文(1)  | 海                  | ヨシミツ ショウタ<br>吉満 将太    |                 |
|     | 212    | 機械(11) | 陸                  | コダマ アキラ<br>児玉 明       | 庶務(OB・師範)       |
|     | 242    | 機械(11) | 海                  | クロスミ ユウト<br>黒住 悠人     | 庶務(OB・師範)       |
|     | 242    | 電気(7)  | 海                  | トミタ ダイスケ<br>富田 大助     | ホームページ          |
|     | 311    | 機材(10) | 空                  | ミヤガワ シンイチ<br>宮川 真一    | 三年係(正)          |
|     | 321    | 応化(5)  | 陸                  | タクシマ ヒロユキ<br>宅島 宏幸    | 道場長 兼<br>二年係(副) |
|     | 321    | 応化(5)  | 陸                  | マツモト ジュン<br>松本 淳      | 安全 兼<br>一年係(副)  |
|     | 321    | 国関(3)  | 陸                  | ミヤタ ケンイチロウ<br>宮田 憲一郎  | 会計              |
|     | 331    | 通信(8)  | 海                  | カガワ ショウタ<br>香川 将太     | 三年係(副)          |
|     | 421    | 航宇(13) | 空                  | ハマダ スグル<br>濱田 卓       | 副将 兼 渉外         |
| 421 | 土木(14) | 海      | マツモト コウイチ<br>松本 光一 | 主務                    |                 |

|     |     |        |   |            |                 |    |
|-----|-----|--------|---|------------|-----------------|----|
|     | 422 | 土木(14) | 陸 | イソバタ<br>磯畑 | リョウタ<br>良太      | 主将 |
|     | 441 | 公共(2)  | 空 | サザナミ<br>漣  | ヒロシ<br>博司       |    |
| 5 4 | 142 | 国関(3)  | 海 | コブネ<br>小船  | リツグ<br>乗継       |    |
|     | 241 | 電気(7)  | 陸 | アラカワ<br>荒川 | サエ<br>紗恵 W      |    |
|     | 241 | 情報(9)  | 空 | イサ<br>伊佐   | ノブアキ<br>信晃      |    |
|     | 241 | 公共(2)  | 陸 | サカグチ<br>坂口 | タカユキ<br>雄幸      |    |
|     | 241 | 応物(4)  | 陸 | ハマノ<br>濱野  | マサシ<br>雅史       |    |
|     | 242 | 電気(7)  | 陸 | ヤシマ<br>八島  | マサル<br>勝        |    |
|     | 331 | 機械(11) | 空 | セト<br>瀬戸   | ヨウスケ<br>陽介      |    |
|     | 312 | 応化(5)  | 海 | ノノエ<br>野添  | フミト<br>文登       |    |
|     | 432 | 機材(10) | 陸 | ムラタ<br>村田  | シュンイチロウ<br>瞬 一郎 |    |
| 5 5 | 112 | 応化(5)  | 陸 | ウエノ<br>植野  | タツノリ<br>辰徳      |    |
|     | 121 | 応化(5)  | 陸 | サワヤ<br>澤谷  | タツヤ<br>竜也       |    |
|     | 122 | 人文(1)  | 空 | シゲマツ<br>重松 | オサム<br>紀        |    |
|     | 132 | 応化(5)  | 陸 | ヒラガ<br>平賀  | タイキ<br>大樹       |    |
|     | 141 | 応化(5)  | 陸 | アシダ<br>芦田  | ユウジ<br>勇次       |    |
|     | 141 | 電気(7)  | 陸 | ナカオカ<br>中岡 | ダイスケ<br>大輔      |    |
|     | 141 | 人文(1)  | 陸 | ヤザキ<br>矢崎  | アツシ<br>敦        |    |

|     |     |        |    |            |               |  |
|-----|-----|--------|----|------------|---------------|--|
|     | 141 | 電気(7)  | 空  | ヤマガタ<br>山縣 | ヨシヒサ<br>宜久    |  |
|     | 221 | 通信(8)  | 陸  | オノウエ<br>尾上 | シンイチ<br>真一    |  |
|     | 221 | 土木(14) | 陸  | コバヤシ<br>小林 | キ コウ<br>棋孝    |  |
|     | 312 | 公共(2)  | 陸  | ムラタ<br>村田  | マリ ナ<br>茉莉那 W |  |
|     | 341 | 公共(2)  | 陸  | カワカミ<br>川上 | マサアキ<br>政晃    |  |
|     | 411 | 情報(9)  | 陸  | フジイ<br>藤井  | リョウヘイ<br>涼平   |  |
|     | 411 | 機械(11) | 陸  | ミツムネ<br>光宗 | ハヤト<br>勇人     |  |
|     | 421 | 国関(3)  | 海  | フジタ<br>藤田  | タカヒト<br>孝仁    |  |
| 5 6 | 113 | 共通(11) | 共通 | ワダ<br>和田   | ユウヤ<br>裕也     |  |
|     | 123 | 共通(12) | 共通 | セキカワ<br>関川 | タツヤ<br>達弥     |  |
|     | 123 | 共通(12) | 共通 | キンガミ<br>岸上 | ヨシタカ<br>吉孝    |  |
|     | 213 | 共通(14) | 共通 | キタムラ<br>北村 | オサム<br>修      |  |
|     | 213 | 共通(14) | 共通 | ホック<br>トラー | ウイチエツ         |  |
|     | 243 | 共通(2)  | 共通 | コブキ<br>壽   | リョウスケ<br>良祐   |  |
|     | 243 | 共通(2)  | 共通 | サトウ<br>佐藤  | コウヘイ<br>康平    |  |
|     | 323 | 共通(4)  | 共通 | スズキ<br>鈴木  | ダイショウ<br>大翔   |  |
|     | 423 | 共通(8)  | 共通 | ウチキ<br>内木  | シュウヘイ<br>修平   |  |
|     | 423 | 共通(8)  | 共通 | セキド<br>関戸  | カンショウ<br>貫生   |  |

|     |        |    |                   |  |
|-----|--------|----|-------------------|--|
| 433 | 共通(9)  | 共通 | ドン トック<br>トアン     |  |
| 433 | 共通(9)  | 共通 | ナンリ ヨウスケ<br>南里 陽介 |  |
| 433 | 共通(9)  | 共通 | ニシダ ヒロシ<br>西田 浩士  |  |
| 433 | 共通(9)  | 共通 | ニワ カズミ<br>丹羽 和美 W |  |
| 443 | 共通(10) | 共通 | ウエノ ヨシマサ<br>上野 嘉優 |  |

\* Wは女子部員の意

## 平成 1 9 年度活動成果

| 日 時               | 行 事           | 場 所      | 成 績   |
|-------------------|---------------|----------|---|
| 5 月 4 日           | 第 44 回関東学生大会  | 日本武道館    | 団体演武：最優秀<br>男子参段以上：敢闘<br>男女段外：優秀<br>日本武道館賞            |
| 5 月 12 日          | 新入生歓迎行事       | 南足柄      |   |
| 6 月 16 日          | 昇級審査          | 防衛大      |   |
| 6 月 17 日          | 合同練習(慶應・早稲田)  | 防衛大      |   |
| 6 月 24 日          | 昇段審査          | 藤沢翔陵高校   |   |
| 8 月 19 日<br>～22 日 | 夏合宿           | 防衛大      |   |
| 8 月 6 日<br>～9 日   | 本山合宿 (53 期)   | 香川県多度津町  |   |
| 10 月 7 日          | 第 41 回全日本学生大会 | 日本武道館    | 団体演武：最優秀<br>男子参段以上：敢闘<br>男女初段：敢闘<br>男子段外：敢闘<br>日本武道館賞 |
| 12 月 2 日          | 横須賀三浦大会       | 県立福祉大学   | 二段：最優秀<br>敢闘<br>初段：最優秀                                |
| 1 月 15 日<br>～18 日 | 寒稽古           | 防衛大      |   |
| 2 月 2 日           | 全自衛隊大会        | 陸自善通寺駐屯地 | 三段以上：優良<br>初二段：最優秀                                    |
| 2 月 16 日          | OB 杯 (納会)     | 防衛大      |   |
| 3 月 26 日<br>～28 日 | 春合宿           | 防衛大      |   |

## 平成19年度各大会個人成績

### 関東学生大会(平成19年5月4日：日本武道館)

|        |     |     |      |       |       |
|--------|-----|-----|------|-------|-------|
| 団体演武の部 | 最優秀 | 53期 | 宮川真一 | 濱田卓   | 大河内太一 |
|        |     |     | 児玉明  | 黒住悠人  | 宅島宏幸  |
|        |     |     | 吉満将太 | 松本光一  | 漣博司   |
|        |     |     | 礒畑良太 | 宮田憲一郎 | 石丸純   |

|          |    |     |      |      |
|----------|----|-----|------|------|
| 男子参段以上の部 | 敢闘 | 52期 | 上田桂裕 | 太田一宏 |
|----------|----|-----|------|------|

|        |    |     |      |      |
|--------|----|-----|------|------|
| 男女段外の部 | 優秀 | 54期 | 荒川紗恵 | 有浦礼将 |
|--------|----|-----|------|------|

日本武道館賞

### 全日本学生大会(平成19年10月7日：日本武道館)

|        |     |     |       |      |      |
|--------|-----|-----|-------|------|------|
| 団体演武の部 | 最優秀 | 53期 | 礒畑良太  | 児玉明  | 松本淳  |
|        |     |     | 宮田憲一郎 | 濱田卓  | 宅島宏幸 |
|        |     |     | 宮川真一  | 香川将太 | 石丸純  |
|        |     |     | 松本光一  | 黒住悠人 | 漣博司  |

|          |    |     |      |      |
|----------|----|-----|------|------|
| 男子参段以上の部 | 敢闘 | 52期 | 上田桂裕 | 大畑成平 |
|----------|----|-----|------|------|

|        |    |     |      |      |
|--------|----|-----|------|------|
| 男女初段の部 | 敢闘 | 54期 | 荒川紗恵 | 有浦礼将 |
|--------|----|-----|------|------|

|        |    |     |      |     |
|--------|----|-----|------|-----|
| 男子段外の部 | 敢闘 | 55期 | 光宗勇人 | 重松紀 |
|--------|----|-----|------|-----|

日本武道館賞

### 横須賀三浦ブロック大会(平成19年12月2日：県立保健福祉大学)

|      |     |     |      |      |
|------|-----|-----|------|------|
| 二段の部 | 最優秀 | 53期 | 石丸純  | 漣博司  |
|      | 敢闘  | 53期 | 吉満将太 | 富田大助 |

|      |     |     |      |      |
|------|-----|-----|------|------|
| 初段の部 | 最優秀 | 54期 | 小船乗継 | 坂口雄幸 |
|------|-----|-----|------|------|

|              |  |     |      |      |
|--------------|--|-----|------|------|
| 招待選手としての演武披露 |  | 52期 | 上田桂裕 | 大畑成平 |
|--------------|--|-----|------|------|

全自衛隊大会（平成20年2月2日：陸自善通寺駐屯地）

三段以上の部      優良      52期      高浦二三康      荒木敬

初二段の部      最優秀      53期      宮川真一      磯畑良太

## 平成 2 0 年度年間活動計画

| 期 間               | 行 事                                   | 場 所    | 備 考                                 |
|-------------------|---------------------------------------|--------|-------------------------------------|
| 4 月中              | <b>全力勧誘期間</b>                         |        | 目標：30名以上                            |
| 4 月 19 日          | 昭和薬科大学との合同稽古                          | 防衛大学校  |                                     |
| 5 月 4 日           | 第 45 回関東学生大会                          | 日本武道館  | 団体演武優良 運用法優秀<br>男子単独敢闘<br>男子段外優秀    |
| 5 月 17 日          | 新入部員歓迎行事                              | 校外     | 新入部員 15 名                           |
| 5 月 18 日          | 早稲田大学・慶應義塾大学・明治学院大学・青山学院大学・上智大学との合同稽古 | 防衛大学校  |                                     |
| 時期未定              | 横須賀三浦大会                               | 未定     |                                     |
| 6 月 29 日          | 昇段審査                                  | 関東学院高校 |                                     |
| 8 月 19 日～<br>22 日 | 夏合宿                                   | 防衛大学校  |                                     |
| 9 月 28 日          | 第 42 回全日本学生大会                         | 日本武道館  | 目標：団体演武最優秀<br>2 段・3 人掛け最優秀<br>最優秀大学 |
| 11 月 8 日          | 開校祭                                   | 防衛大学校  | 演武披露                                |
| 時期未定              | 政権交代                                  | 防衛大学校  |                                     |
| 時期未定              | 全自衛隊大会                                | 未定     |                                     |
| 1 月中              | 寒稽古                                   | 防衛大学校  |                                     |
| 2 月中              | OB 杯演武大会・納会<br>OB 総会                  | 防衛大学校  |                                     |
| 3 月下旬             | 春合宿                                   | 防衛大学校  |                                     |

\*尚、各月一回を基準に師範日を予定



## 少林寺拳法部第 5 3 期政権編成

| 役 職           | 氏 名    | 所 属   | 要員・専攻 |
|---------------|--------|-------|-------|
| 主 将           | 磯畑 良太  | 4 2 2 | 陸上・土木 |
| 副 将           | 濱田 卓   | 4 2 1 | 航空・航宇 |
| 統制長           | 大河内 太一 | 1 2 1 | 航空・電気 |
| 道場長           | 宅島 宏幸  | 3 2 1 | 陸上・応化 |
| 主 務           | 松本 光一  | 4 2 1 | 海上・土木 |
| 会 計           | 宮田 憲一郎 | 3 2 1 | 陸上・国関 |
| 安 全           | 松本 淳   | 3 2 1 | 陸上・応化 |
| 3 年係正         | 宮川 真一  | 3 1 1 | 航空・機材 |
| 3 年係副         | 香川 将太  | 3 3 1 | 海上・通信 |
| 3 年係補佐        | 児玉 明   | 2 1 2 | 陸上・機械 |
| 3 年係補佐        | 富田 大助  | 2 4 2 | 海上・電気 |
| 2 年係正         | 大河内 太一 | 1 2 1 | 航空・電気 |
| 2 年係副         | 宅島 宏幸  | 3 2 1 | 陸上・応化 |
| 2 年係補佐        | 黒住 悠人  | 2 4 2 | 海上・機械 |
| 2 年係補佐        | 藤崎 脩太郎 | 1 1 2 | 陸上・土木 |
| 1 年係正         | 石丸 純   | 1 1 1 | 陸上・人文 |
| 1 年係副         | 松本 淳   | 3 2 1 | 陸上・応化 |
| 1 年係補佐        | 吉満 将太  | 1 2 1 | 海上・人文 |
| 1 年係補佐        | 漣 博司   | 4 4 1 | 航空・公共 |
| 庶務<br>(OB・師範) | 児玉 明   | 2 1 2 | 陸上・機械 |
|               | 黒住 悠人  | 2 4 2 | 海上・機械 |
| 本山            | 藤崎 脩太郎 | 1 1 2 | 陸上・土木 |
| 渉外・学連         | 濱田 卓   | 4 2 1 | 航空・航宇 |
| 乱捕り           | 濱田 卓   | 4 2 1 | 航空・航宇 |
|               | 大河内 太一 | 1 2 1 | 航空・電気 |
| 体力            | 松本 光一  | 4 2 1 | 海上・土木 |
|               | 宮田 憲一郎 | 3 2 1 | 陸上・国関 |
| 写真            | 藤崎 脩太郎 | 1 1 2 | 陸上・土木 |
| ホームページ        | 富田 大助  | 2 4 2 | 海上・電気 |

# 奧平會報

## 会長挨拶

奥平会会長 石渡 幹生

合 掌

奥平会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

会長に就任してから早1年が過ぎましたが、何も出来ていないことに今更ながら申し訳ない気持ちです。

さて、19年度は少林寺拳法創始60周年の式典及び大会が、11月3日・4日に都内で盛大に行われました。そのような節目の年に現役学生諸君は、関東及び全日本学生選手権において団体演武最優秀をはじめとした輝かしい成績を獲得してくれました。母校の校友会において全国レベルで優勝を勝ち取る部は極めて数少ない中、後輩諸君が立派にその栄光と伝統を引き継いでくれていることに、奥平会としてこれに勝る喜びはなく敬意を表したいと思います。

20年度がスタートしました。時の流れに合わせ学生部員の獲得に波が生じ、これに応じて成績も左右されることはやむを得ません。その厳しい時を現在の3年生8名が背負っており、苦しいだろうが精一杯やるべきことをやって欲しい。そんな中、56期新入生を15名獲得できたとのことであり、磯畑主将を中心として部員全員が心を一つにして、部を盛り上げて欲しいと思います。

また、春の人事異動により、奥平会の防衛大事務局、学生の面倒見を、奥平会の運営に精通している濱田秀君（27期）が担ってくれることになり、OB会員不在の懸念があった19年度末の状況を払拭してくれました。皆様のご協力を得て、会の運営を支障なく進めたいと思っております。

最後に、会員並びにご家族皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

結 手

## 平成19年度奥平会活動概要

### 1 現役部員に対する支援

日常における学生に対する指導をおこなうとともに、夏季合宿、関東・全日本学生大会等への支援を実施致しました。細部は別紙第1「平成19年度奥平会活動成果報告」のとおりです。

特に顧問の少ない中、事故もなく各種行事を乗り切れましたのも、OB・OGの方々のご多忙中にもかかわらず、大会等の応援に駆けつけてくださったお陰と感謝いたしております。来年度につきましても、できる限り大会等の予定を御連絡いたしますので、応援・ご支援のほどよろしくお願ひします。

### 2 総会の実施

平成20年2月16日、防大において学生による「OB杯演武・乱捕り大会」に併せまして平成19年度奥平会総会を開催しました。総会には20余名の会員に参集をしていただきました。

総会では、活動報告及び会計報告を行ったほか、今後の奥平会活動等について発議し、熱心に討議が行なわれました。細部討議内容につきましては別紙第2をご参照ください。

出席いただいた会員の方々、誠にありがとうございました。

### 3 平成19年度会計報告

別紙第3「平成19年度奥平会決算報告書」をご参照ください。

## 平成20年度奥平会活動予定

### 1 平成20年度奥平会活動内容

別紙第4「平成20年度奥平会活動計画」をご参照ください。

### 2 平成20年度奥平会予算

別紙第5「平成20年度奥平会予算計画」をご参照ください。

### 3 平成20年度奥平会本部

| 役 職                | 期 別 | 氏 名   | 連 絡 先                   |
|--------------------|-----|-------|-------------------------|
| 会長                 | 17F | 石渡 幹生 | 技本（空）開発官 8-6-26800      |
| 副会長（市ヶ谷等）          | 17A | 鈴木 陽  | （退職）                    |
| 副会長（市ヶ谷等）          | 24A | 佐藤 秀幸 | 作戦情報隊副司令 8-48-3301      |
| 副会長兼総括幹事<br>兼庶務・広報 | 27A | 濱田 秀  | 防衛大学校 8-40-3853         |
| 会計監査委員             | 20A | 半澤 康司 | 中央業務支援隊総務部<br>8-6-47100 |
| 会計                 | 27A | 濱田 秀  | 防衛大学校 8-40-3853         |

## 期連絡網について

### 1 趣 旨

奥平会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理する。  
特に近年、退職者が多数おられて、会員の掌握が難しくなりつつある現状を踏まえ、他  
校友会会員の扱い等も参考にしつつ、掌握に努める。

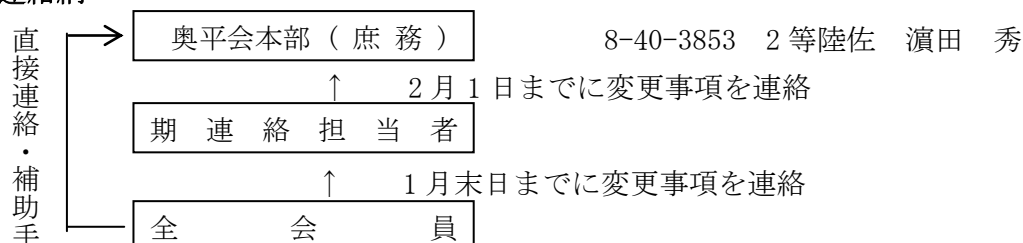
### 2 連絡の要領

- (1) 各期に1名、連絡担当者をおく。
- (2) 住所・所属等が変更になった場合、各人は毎年1月末日までに同期生の連絡担当  
者に連絡し、変更事項を告げる（直接防衛大学校庶務に連絡することも可能）。
- (3) 連絡担当者は、年度の変更事項をまとめて毎年2月1日までに奥平会本部（防大  
庶務）に連絡する。期担当者の変更（交代・転出）についても防大庶務に連絡する。
- (4) その他、会員の慶弔に関する事項については、各人ごと直接又は連絡担当者を通  
じて奥平会本部に連絡するものとする。

### 3 連絡担当者の指名

3年を任期とし、次の担当者を期毎指名し、申し送るものとする（再任を妨げない）。

### 4 期連絡網



### 5 期連絡担当者（20.4.1現在）

|    |     |       |     |     |       |     |     |       |     |
|----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|
| 10 | 10  | 調整中   |     | 25N | 内山 哲也 | 目黒  | 40A | 上野 洋介 | 練馬  |
| 11 | 11A | 勝野 建朗 | 退職  | 26F | 池島 暢也 | 入間  | 41A | 後藤 仁志 | 目黒  |
| 12 | 12A | 衛藤 利治 | 退職  | 27F | 堀田 隆治 | 三沢  | 42A | 古賀 信之 | 目黒  |
| 13 | 13A | 高本 俊之 | 退職  | 28A | 湯浅 悟郎 | 市ヶ谷 | 43A | 廣瀬 繁  | 小平  |
| 14 | 14A | 清水 重周 | 退職  | 29A | 甲斐 正人 | 目黒  | 44A | 渡邊 俊明 | 川内  |
| 15 | 15A | 上杉 和壽 | 退職  | 30A | 福田 洋司 | 十条  | 45A | 八木 新  | 旭川  |
| 16 | 16A | 富本 啓一 | 退職  | 31A | 吉竹 辰明 | 市ヶ谷 | 46A | 菊池 裕紀 | 守山  |
| 17 | 17A | 中尾 吉孝 | 退職  | 32A | 福重 毅尚 | 目黒  | 47A | 矢野 健一 | 弘前  |
| 18 | 18F | 笠原 久  | 退職  | 33N | 町島 敏幸 | 岩国  | 48A | 対比地貴之 | 松本  |
| 19 | 19A | 屋久 俊郎 | 退職  | 34A | 松永 康則 | 目黒  | 49A | 西川 尚紀 | 防大  |
| 20 | 20A | 小林 実  | 朝霞  | 35A | 戒田 重雄 | 市ヶ谷 | 50N | 鳥居 悠希 | 小月  |
| 21 | 21A | 湖崎 隆  | 勝田  | 36A | 藤岡 忠生 | 市ヶ谷 | 51A | 加藤 僚  | 青森  |
| 22 | 22A | 松村 利宏 | 豊川  | 37N | 高取 哲郎 | 市ヶ谷 | 52N | 上田 佳裕 | 江田島 |
| 23 | 23A | 日高 政広 | 札幌  | 38A | 奇藤 浩  | 秋田  |     |       |     |
| 24 | 24F | 中館 利光 | 市ヶ谷 | 39A | 中村公多朗 | 霞ヶ浦 |     |       |     |

## 連 絡 事 項

### 1 会員名簿の更新について

会員名簿につきまして所属等不明者は、空欄にしております。本人もしくはその所属等を知っておられる方、また記載内容の間違い等にお気づきの点がございましたら期連絡担当者又は防大奥平会本部庶務まで御連絡ください。

近年、部誌のデータが更新されない等の理由で、送付した部誌が戻ってきてしまうケースが多く見られます。このため、今年は努めて期担当連絡者と連絡を取るよう努めました。連絡がなかった、あるいは連絡がつかなかった期につきましては、昨年度のデータを基に作成しております。

### 2 期連絡網について

期連絡網について上記のように設置していますので、会員の皆様におかれまして住所の変更等がありましたら期連絡担当者まで御連絡下さい。

尚、期連絡担当者様の所属が変更になっている場合、部誌が届いていない恐れがあります。その際は、お手数ですが、同期の方またはお近くの方から期連絡担当者様に本部へご連絡いただけるようお願い申し上げます。今後、最盛期の勢力であった期が逐次退職して行き、連絡がつきにくくなって行くことが考えられます。期連絡網を活用してゆけるよう努力致しますので、ご協力の方どうかよろしくお願い申し上げます。

### 3 メール化のご提案

部誌作成業務は、学生と防大勤務者の共同で手作り作業により、営々と行われてまいりました。一方で昨今の IT 技術の発達に鑑み、これを利用するならば、部誌作成業務の省力・節約化、配布の迅速確実化が望めると考えることが出来ます。近い将来一部でもこれを実現化することも重要だと思われれます。この提案に関する意見のある方は、奥平会本部庶務 ([hamashu7@nda.ac.jp](mailto:hamashu7@nda.ac.jp)) までメール連絡下さい。

### 4 本部連絡先

防衛大学校防衛学教育学群国防論教育室      2等陸佐 濱田 秀  
専用線 8-40-3853  
局 線 046-841-3810 (内 3853)  
e-mail [hamashu7@nda.ac.jp](mailto:hamashu7@nda.ac.jp)

### 5 その他

- (1) 会員の慶弔がありましたら、期連絡担当者若しくは本部庶務まで、ご本人若しくは近傍の会員の方からご一報いただきますようお願いいたします。
- (2) インターネットの防大ホームページ (<http://www.nda.ac.jp/index-j.html>) に少林寺拳法部のホームページを開設いたしております。活動状況、成績、知りうる範囲で会員様の慶弔等も逐次掲載しておりますので是非ご覧ください。

## 少林寺拳法全自衛隊支部について

自衛隊員の活動を容易にし、自衛隊の中での少林寺拳法の活動を活発化する目的で、全自衛隊連盟の一支部として、全自衛隊支部が設立されております。

設立の趣旨としましては、各拳士が全国どこの自衛隊勤務地においても少林寺拳法の練習ができるように設立されたものであり、自衛隊の少林寺拳法の活発化を図るものです。

現在、陸自OBの壹岐公洋氏が支部長（禅林学園）、事務局事務担当者として防大24期の出口潔1等空佐、事務局会誌担当者として防大27期の米山多佳志2等陸佐がこの業務に携わっております。詳しくは別紙6をご覧ください。

## 奥平会会則

19年度総会では、総会の参集人員のありかたや、OB顧問が防衛大学校に所在しなくなった場合について等、「奥平会会則」にかかわる事項について問題提起がなされました。来年の総会に資する意味で奥平会会則を掲載致しました（別紙7）。

## 奥平会員名簿

### 1 奥平会名誉会員名簿

別紙第8「奥平会名誉会員名簿」をご覧ください。

### 2 奥平会員名簿

別冊「奥平会員名簿」をご覧ください。

平成 1 9 年度奥平会活動成果報告

1 少林寺拳法部活動支援

- (1) 各種活動に対し、金銭的支援及び防大所属会員等による人的支援を実施した。
- (2) 夏合宿、関東学生大会、全日本大会には近隣の会員からの激励、金銭的支援を受けた。
- (3) OB交流等を通じて、昨年度に引き続き合同練習対象校を拡大した。

2 横須賀・三浦ブロック活動参加  
月例会議参加（三宅）

3 校内活動

- (1) 少林寺拳法部顧問会議
- (2) 政権・OB合同会議（必要の都度）
- (3) ホームページの作成及び運営指導



平成19年度奥平会総会議事録

1 学生に対する指導について

- (1) 関東学生OB連合会及び少林寺拳法連盟横須賀・三浦ブロック主催の合同練習等に積極的に参加するよう指導する。
- (2) 大会等を通じて懇意になった大学との合同練習を積極的に実施する。

2 平成19年度奥平会活動報告

資料（別紙第1）のとおり報告し、質問等の特記事項なし。

3 平成19年度奥平会会計報告

- ・資料（別紙第3）のとおり報告し、承認された（なお、収支に示す防具代は、本山から防具の改良・制式化（昇級・昇段・試合等にも使用を統制）が指示された際、急遽防具を購入した経緯があつて、奥平会から一時金50万円を貸し出しすることが以前、総会で決定され、それ以降学生が年度毎に10万円ずつ部費から返金している経緯がある：今後、忘れないように会計報告の備考覧に記載していく）。

- ・佐藤会員より200万強の貯蓄は多くないかとの質問があり、鈴木副会長から以下の回答があつた。

「200万強の貯蓄は、17年度に特別会費を徴収した際のものである。その際にどの程度の額を保有しておくべきかについて討議された。この際、運営に必要な年額（約70～80万円程度）の約2年間分を貯蓄しておくべきである、との結論を得た。それ以来、その額を基準に貯蓄されているものである。」

4 平成20年度奥平会活動計画

- ・報告（別紙第4）のとおり承認された。
- ・20年度は防大勤務OBが2名となるため、会員諸氏の一層の支援を依頼した。
- ・細部運営要領等は後述。

5 平成20年度予算計画（別紙第5）

平成19年度との相違点は、下記のとおりであり、これらを修正し承認された。

- ・収入については特記事項なし。
- ・全自衛隊大会支援金については、参加人数の減少に伴い5万円から3万円に削減した。
- ・新生獲得支援金については、支出を控えるために6万円から5万円に削減した案を提出したが、学生が新生に道衣を配る際の補助とするとのことであり、予算的に問題がないことから例年の6万円とすることとした。
- ・三浦ブロック関連の支出については、ブロックから徴収を依頼されている金銭が防大支部として払う必要があるのかが問題となり、高取会員がブロックの先生に確

認し、必要であれば支払うようにする。

- ・部誌関連については、発送を定形外郵便での発送からメール便での発送にすることにより支出を減らす。

## 6 今後の運営について

### (1) 監督、顧問業務

濱田会員が実施し、学生の技術指導等は近隣からの支援をもらう。

### (2) 幹事業務

#### ア 総括業務

濱田会員

#### イ 庶務業務

- ・三浦ブロッカー濱田会員
- ・神奈川県連 一高取会員
- ・全自衛隊 一米山会員
- ・学生OB連盟一米山会員

#### ウ 会計業務

濱田会員

#### エ 広報業務

濱田会員

### (3) 会計監査

半澤会員（20期・1陸佐、陸上自衛隊中央業務支援隊

連絡先：8-6-47100（080-5372-0268）

## 7 その他

### (1) 部旗の製作

武旗については、米山会員が本部職員に連絡してデザインについての規制を確認し、本年度中に作成するよう努力する。

学生にデザインを一任し、作成することとする。（部旗用の代金13万円は学生が保管している。贈 菅野先生並びに奥平会一同と記載させる。）

### (2) 会則の不具合について

ア 平成19年度末にOBたる防大職員が不在になるおそれがあったが、今回後期異動でとりあえず回避された。今回のような場合の処置については、その状態が生起する可能性が見込まれる際に、あらためて議論することとなった。

イ 総会開催の人数の招集（現在15名）が困難になっている実情から、この見直し、もしくは委任状の可否につき必要性・可能性等が議論された。しかしながら、次年度は現状の会則のままで実施することとし、今後は実行可能性等を考慮しつつ、引き続き検討することとした。

## 平成19年度奥平会決算報告書

## (1) 19年度収支について

| 収 入          |            | 支 出       |            |
|--------------|------------|-----------|------------|
| 前年度繰越金       | ¥1,599,642 | 各種大会支援    | ¥180,000   |
| OB会費(51期16名) | ¥848,000   | 合宿支援      | ¥15,000    |
| OB臨時会費       | ¥3,000     | 学生活動支援    | ¥60,000    |
| 利息           | ¥14,695    | 技術向上支援    | ¥200,000   |
| 防具代          | ¥100,000   | 部誌発行関連    | ¥168,188   |
| 小計           | ¥965,695   | 関東OB連合会関連 | ¥15,000    |
| 総計           | ¥2,565,337 | 三浦ブロック関連  | ¥36,000    |
|              |            | OB杯・慶事等   | ¥47,135    |
|              |            | 合計        | ¥721,323   |
| 残高(収入-支出)    |            |           | ¥1,844,014 |

## (2) 防具代の出所について

防具代につきましては、本山から防具の改良・制式化(昇級・昇段・試合等にも使用を統制)が指示された際、急遽防具を購入した経緯があつて、奥平会から一時金50万円を貸し出しすることが総会で決定されました。それ以降学生は年度毎に10万円ずつ部費から返金をしております。収入の「防具代」は、この10万円を示しております。

## (3) 会計監査報告書

付紙の通り。

平成20年度奥平会活動計画

1 活動内容

(1) 部活動支援

金銭的・人的支援を継続して実施する。

(2) 横須賀・三浦ブロック活動参加

近隣支部との合同練習に積極的に参加する。

(3) 関東学生OB連合会活動参加

懇親会を通じて交流のできた大学との合同練習機会を拡大する。

(4) 校内活動

OBの部活動・練習参加に加え、OB自身の技術向上を図り、積極的に指導を実施する。

2 部の活動予定

部誌中「平成20年度年間活動計画」参照

3 活動に当たっての重点事項

(1) 新入部員獲得に重点的な支援を行う。(金銭支援、勧誘活動支援)

(2) 他駐屯地・基地からのOB支援・激励を積極的に得る。

(3) 防大勤務OBの増加を要望する。

(4) 期連絡網については、メールの活用を含め、連絡体制の効率化・迅速化を図る。

## 平成20年度奥平会予算計画

## 1 収入について

12年度以来、OB・OGの皆様の暖かいご援助により約2ヵ年分の活動費（約140万円）を上回る額を確保することができるようになり、18年度をもって、特別会費の徴収を見合わせた予算となったことは33号（平成18年度版）でも申し述べたとおりです。

当面の間、19年度以降も卒業時の一時金による予算によりまかなうことになっております。因みに現在の部員数は、4学年14名、3学年11名、2学年15名、1学年15名となっております。20年度以降も終身OB会費による運営が可能で、今後も奥平会の本来の形式であった終身OB会費による運営を追求して行きます。

## 2 支出について

20年度も、大きな事業は予定されていません。会誌印刷の外注化継続経費を含め、恒常的な支出は今年度並となります。

## 3 20年度予算計画について

| 収 入       |            | 支 出    |            |
|-----------|------------|--------|------------|
| 前年度繰越金    | ¥1,844,014 | 各種大会支援 | ¥160,000   |
| OB会費      | ¥810,000   | 合宿支援   | ¥15,000    |
| 特別会費      | ¥0         | 学生活動支援 | ¥60,000    |
| 利息        | ¥10,000    | 技術向上支援 | ¥200,000   |
| 小計        | ¥820,000   | 奥平会運営費 | ¥250,000   |
| 総計        | ¥2,664,014 | 総計     | ¥685,000   |
| 残高（収入－支出） |            |        | ¥1,979,014 |

## 4 来年度以降の見通し

奥平会の運営経費は年間約70万円を必要としております。既にご承知の通り、収入は当該年度の卒業生の終身OB会費（5.3万円/人）によって賄われております。当面は14名以上の卒業生が見込まれており、終身OB会費による運営が可能です。

なお、菅野部長からいただきましたご厚志（部旗代）につきましては、部旗の制作費に充てますが前述のように作成要領が本山から示され次第、使用させていただく予定であり、進行状況については総会において毎年ご報告させていただきます。

## 全自衛隊支部の活動紹介

全自支部事務局

## 【紹介の趣旨】

奥平会の会員におかれましては、防大卒業時に少林寺拳法の修行を止めてしまった方、勤務の都合で練習したくてもやめざるを得なかった方、勤務地の中で全自衛隊連盟支部として活動している方、一般の道院・支部に通って活動している方等、いろいろおられると思います。中には活動をしたくても、転属をする度に手続きの煩雑さから、活動を躊躇している方もおられると思います。

そのような状況の中で、自衛隊員の活動を容易にし、自衛隊の中での少林寺拳法の活動を活発化する目的で、全自衛隊連盟の一支部として、全自衛隊支部が設立されたところです。

下記の内容を読んでいただければ、その活動状況はご理解いただけると思いますが、比較的軽易に少林寺拳法の活動が可能になりましたので、奥平会会員の皆様も是非又道着の袖に腕を通していただきたく、この場を借りて紹介させていただきます。

## 1 設立の趣旨

各拳士が全国どこの自衛隊勤務地においても少林寺拳法の練習ができるように設立されたものであり、もって自衛隊の少林寺拳法の活発化を図るものである。全自衛隊支部に所属する場合の具体的な例として、

- (1) 部長が転勤及び退職等により、やむなく廃止や休止せざるを得なくなった少林寺拳法部員の活動継続する場合
- (2) 拳士が転勤等により、少林寺拳法部がない勤務地に異動して活動継続する場合
- (3) 拳士が頻繁な転勤等により、その都度、各少林寺拳法部への転籍ができない場合
- (4) その他、拳士の活動継続が困難な場合

## 2 活動の状況

- (1) 支部長：禅林学園 壹岐公洋（陸上自衛隊OB）
- (2) 事務局（事務担当者）：出口潔（防大24期・1等空佐）  
同（会誌担当者）：米山多佳志（防大27期・2等陸佐）
- (3) 支部員：支部長以下23名(20.4.1現在)  
(防大少林寺拳法部出身者：11名)

- (4) 所在地:新田原基地(原則として事務担当者の所属場所)
- (5) 支部員の活動場所 : 20カ所
- (6) 会費 当面、年会費10,000円を徴収  
(入部、転籍の際、別途、身分証明書代500円、袖章代500円が必要)

### 3 入部及び活動要領

#### (1) 入 部

##### ア 入部資格

全国の自衛隊拳士を対象とするが、原則として、

- (ア) 少林寺拳法部を有しない自衛隊駐屯地等において勤務する拳士及びその家族とする。(当面の間、有段者のみ)
- (イ) 所属道院支部道場を有しない自衛隊OB拳士も対象とする。

##### イ 入部要領

入部を希望する者は、会費(1万円)及び転籍諸経費(1000円)を添えて入部届又は転籍届(写真2枚含む)を事務局(出口宛)に提出し、入部の承認を得る。

#### (2) 修練場所

原則として、各駐屯地等の施設を活用した修練とする。但し、駐屯地等の近隣に位置する道院支部での修練は、道院支部等の所属長に当部の活動趣旨について理解を求め、参加許可を受けて行う。

#### (3) 支部の事務処理(事務局)

空自・出口潔を副支部長兼ねて事務局(事務担当)とし、事務局を空自新田原基地5空団基地業務群司令室に設置する。(18.12.1以降、現在まで)

原則として、事務局の所在場所は出口拳士の所属する勤務基地等とし、転属等により、その都度、所在場所を変更する可能性がある。

#### (4) 定期連絡

各部員は各自の活動状況について支部長(事務局気付)に定期報告する。また事務局は毎月の参座報告等を通じて、定期的に部員の活動場所を連盟本部に報告する。

また部員の転勤等によって活動場所が変更になった場合は、速やかに事務局に報告する。各拳士からの連絡手段:電話、メール又はFAX等で実施。

#### (5) 部 費

ア 部員の部費は、年間10,000円(暫定・年間個人登録費を含む)とする。

イ 部費は毎年2月末までに徴収する。

(参考:17.4.1現在における必要経費)

|               |           |
|---------------|-----------|
| 年間個人会費        | 5、000円/人  |
| 支部団体登録費       | 5、000円/部  |
| 全自衛隊連盟会費      | 20、000円/部 |
| 全自衛隊大会参加費     | 10、000円/部 |
| 転籍時の身分証明書・袖章代 | 1、000円/人  |

(6) 会報少林寺拳法の配布

原則として連盟本部から事務局に一括送付し、可能な限り、年間数回に分けて部員に配布する。

(7) その他

当面の間、部員については有段者のみとする。新入門者及び級拳士は、昇級審査等の関連より、既存の全自連盟の少林寺拳法部所属としてもらいたい。

4 入部及び問い合わせ先

〒889-1492

宮崎県児湯郡新富町大字新田19581

空自 第5航空団 基地業務群司令 1等陸佐 出口潔

TEL: 0983-35-1121 (内5255)

専用線: 8-93-5255

E m a i l : 5wg-abg001@asdf.mail.jda.go.jp (職場)

: jnkxd650@ybb.ne.jp (自宅)



## 防衛大学校少林寺拳法部奥平会会則

### (名称組織)

第1条 本会は、防衛大学校少林寺拳法部奥平会（以下「奥平会」という。）と称し、防衛大学校少林寺拳法部（以下「少林寺拳法部」という。）に卒業時所属していた者及び一時所属していた卒業生で入会を希望する者をもって組織する。

### (目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を図ること、少林寺拳法部の発展向上に資することを目的とする。

### (事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員相互の融和団結の促進
  - ア 総会の開催
  - イ 部隊等における支部の設立と活動に対する支援
  - ウ 会員の慶弔に関すること
    - (ア) 結婚 …… 祝電
    - (イ) 死亡 …… 花輪、弔電
- (3) 会員の修業の便を図ること
- (4) 少林寺拳法部への支援
  - ア 合宿
  - イ 関東、全日本、その他の大会
  - ウ OB杯大会
- (5) 学生OB連合会及び他大学OB会との連携・交流
- (6) その他、本会の目的を達成するため会長が必要と認める事項

### (経費)

第4条 本会の経費は、会員より徴収する会費及び寄付等の支援金によるものとする。

### (会費)

第5条 20期以前の会員は一律5000円、21期以降の会員は卒業時における学生手

当の2分の1（1000円未満切捨て）を終身会費として納入するものとする。なお、一旦納入した会費は返還しない。

（特別会費）

第6条 前条に定めるほか、特別の出費を要するときには、総会の承認を得て会員から特別会費を徴収する。

（本部）

第7条 本会の本部は、防衛大学校（少林寺拳法部）内に置く。

（名誉会員）

第8条 会長は、次に掲げる者を総会に諮り名誉会員にすることができる。

- （1）防衛大学長
- （2）少林寺拳法部の部長、師範、顧問及びその経験者
- （3）その他、少林寺拳法部の発展に功績のあった者

（役員）

第9条 本会の役員は、会員のうちから選出する。役員任期は1年とし、再任を妨げない。

2 本会に次の役員を置く。

- |           |        |
|-----------|--------|
| （1）会長     | 1名     |
| （2）副会長    | 2名     |
| （3）幹事     | 本校在職会員 |
| （4）会計監査委員 | 1名     |

（会長）

第10条 会長は、本会を代表し、会務を総理するとともに、名誉会員との連絡調整にあたる。

2 会長は、会員の中から副会長、幹事、会計監査委員を任命する。

3 会長は、5年任期とし、次期会長の任期に当たった当該自衛官会員の先任者等の推薦によって選考するものとし、当該期会長任期満了までに総会の承認を得るものとする。

4 会長は、陸海空自衛官会員の持ち回りを原則とするが、当該要員に適当な候補者がいない場合は他の要員から選考する。但し、同じ要員から連続して選考しないものとする。

(副会長)

- 第11条 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき之を代行する。
- 2 会長は、防大及び市ヶ谷駐屯地等の会員の中で、それぞれ適任と思われる者から副会長を任命する。また、必要によりこれを免ずることができる。
  - 3 状況により、会長は副会長を置かないことができる。

(幹事)

- 第12条 幹事は、会長、副会長を補佐し、会務を処理する。
- 2 会長は、防大に勤務する会員を総員幹事に任命する。

(会計監査委員)

- 第13条 会計監査委員は、年度末及び臨時に会の会計を監査し、会長及び会員に報告する。
- 2 会計監査委員は、防大の幹事以外の会員の中から会長が任命する。

(運営)

- 第14条 本会は、総会の決議に基づいて運営する。但し、急を要する事項、若しくは軽易な事項は、会長が役員会に諮って決することができる。

(総会)

- 第15条 総会は、原則として年1回会長が召集する。但し、必要と認めたときは、臨時に召集することができる。
- 2 会長は、総会の召集にあたり、副会長に委任することができる。
  - 3 総会は、会員15名をもって成立する。
  - 4 総会の議長は、会長がこれに充たるものとする。
  - 5 総会の議事は、出席した会員のうち過半数以上の賛同により、成立するものとする。

(会務)

- 第16条 本会の会務を円満に処理するため、会長は幹事の中から書記4名を選任する。
- 2 書記は、総括、庶務、会計及び広報に分掌して処理する。
  - 3 総括担当書記は、会務運営を企画し、会務全般を総括する。
    - (1) 会長等と密接に連絡を取り、会長の意向を会務全般に反映する。
    - (2) 年度の活動成果報告を作成して、総会に報告する。
    - (3) 次年度の活動計画を作成して、総会の承認を得る。
    - (4) 庶務、会計及び広報担当書記の会務を統制・調整し、会務の円滑な運営を図る。
    - (5) 状況により、他の担当書記の会務を兼務することができる。

- 4 庶務担当書記は、主に庶務事項に関して会務を分掌する。
- (1) 学生OB連合会、他大学OB会等のOB会組織並びに(財)少林寺拳法連盟、神奈川県少林寺拳法連盟、全自衛隊少林寺拳法連盟等の連盟組織との連携を図るとともに、必要な処置を行う。
  - (2) 役員名簿を作成する。
- 5 会計担当書記は、会費を管理し、主に会計事項に関して会務を分掌する。
- (1) 会費を徴収する。
  - (2) 会費納入名簿を作成する。
  - (3) 会費未納者に対し、会費の納入を促す。
  - (4) 毎会計年度終了後、特別会費を徴収した場合はその都度、決算報告を作成し総会の承認を得る。
- 6 広報担当書記は、主に広報事項に関して会務を分掌する。
- (1) 少林寺拳法部と連携して、試合日程、合宿等を会員に知らせ、会員の応援を促す等、会員に対する適宜の情報提供を図る。
  - (2) 少林寺拳法部と連携して、年1回会報を作成し、各担当書記が作成する会の活動計画・成果、決算報告、総会議事録、名簿及び部の状況等を会員に知らせる。
  - (3) 会員名簿を作成する。

(会計)

第17条 本会の会計年度は、1月1日に始まり12月末日をもって終わる。

- 2 本会所管の会費は、確実なる金融機関(防衛庁共済組合を含む)へ預け入れるものとする。

(会費の使途)

第18条 本会の会費は、次のことにより使途するものとする。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員の慶弔に関すること
- (3) 少林寺拳法部への支援
- (4) 会員等によるOB会活動等への参加支援
- (5) 会員の大会出場(全国大会レベル)への参加支援
- (6) 会長が、副会長及び幹事等の役員に諮り、奥平会、少林寺拳法部の円滑なる運営上必要と認めた事項

(期連絡網)

第19条 本会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理するため、各期に1名の期連絡担当者を置き、会員及び本部との間に期連絡網を整備する。

- 2 期連絡担当者の選出は、各期毎確実に連絡の取れる会員（電子メールアドレス所持者等）を選出するものとし、交代の際には速やかに本部（広報担当書記）に連絡するものとする。
- 3 会員は、住所・所属等に変更があった場合、毎年11月1日までに同期生の期連絡担当者を通じて、変更事項を本部（広報担当書記）に連絡するものとする。
- 4 その他、会員の慶弔に関する事項については、期連絡担当者或いは各会員が直接本部（広報担当書記）に連絡するものとする。

（退会）

第20条 会員で退会しようとする者は、会長に申し出るものとする。

（規則の改正）

第21条 本会の規則は、総会によって変更することができる。

- 2 前項の場合、出席会員の3分の2以上の賛同を得なければならない。

附則

この会則は、平成6年7月1日から施行する。

附則

この会則は、平成12年3月13日から施行する。

附則

この会則は、平成13年4月23日から施行する。

附則

この会則は、平成14年2月16日から施行する。

附則

この会則は、平成18年2月4日から施行する。

## 奥平会名誉会員名簿

(20. 4. 1 現在)

| 職 名            | 氏 名                  | 現所属及び役職                 | 連 絡 先   |
|----------------|----------------------|-------------------------|---|
| 部 長            | 高 橋 信 明              | 通信工学科<br>教 授            | 〒236-0045<br>横浜市金沢区釜利谷南 3-16-16<br>TEL 045-784-2339         |
| 師 範            | 神 田 憲 和              | 三多摩副道院<br>長<br>准範士 6 段  | 〒164-0003<br>中野区東中野 2-14-7<br>TEL 03-3363-6275              |
| 師 範            | 頼 富 英 武              | 少年工科学校<br>顧問<br>准範士 6 段 | 〒238-0315<br>横須賀市林 5-6-11<br>TEL 0468-56-7663               |
| 顧 問            | 有 賀 敦                | 機能材料工学<br>科<br>講 師      | 〒239-0814<br>横須賀市二葉 1-55 A-202<br>TEL 0468-44-0264          |
| 元部長            | 菅 野 等                |                         | 〒236-0042<br>横浜市金沢区釜利谷東 6 丁目 34 番 1-411<br>TEL 045-786-5877 |
| 元顧問<br>(OB 以外) | 奥 平 正 人<br>(奥平会名誉会長) |                         | 〒828-0044<br>豊前市小石原 392-3<br>TEL 0979-82-2287               |

別冊

# 奥平会員名簿

(平成 20 年 3 月 1 日現在)

## 編集後記

53期 庶務係 児玉 明

合掌

青葉に風薫るころとなりましたが、先輩の皆様にはいよいよご健勝のこととお喜び申し上げます。現在の少林寺拳法部は更なる向上、活性化を目指して日々修練している次第です。

昨年度の成績といたしましては、関東学生大会、全日本学生大会と主要な大会において、わが部の誇る団体演武は全て最優秀賞を受賞しました。また、関東学生大会では男女段外の部において優秀賞、男子参段以上の部において敢闘賞、全日本学生大会では男子参段以上の部、男女初段の部、男子段外の部において敢闘賞を受賞し、他の大会におきましても、数々の賞を受賞することができました。これもひとえに、諸先輩の方々の築かれた伝統によるところであると思っております。

私ども53期も下級生と共に日々自己研鑽に励み、政権(幹部)を中心として全部員が「一枚岩」となって修練に励んでいく所存でありますので、先輩の皆様におかれましても、ますますのご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回部誌を作成するに当り、ご協力・ご指導をいただきました部長、監督を始めとする関係者の方々に厚く御礼を申し上げまして、編集後記とさせていただきます。

結手



